

令和4年度第3回学校運営協議会・学校関係者評価委員会議事録

令和5年2月7日(火) 10:00~

岡山南支援学校図書室

【座席表】					
	吉岡	山崎	村上	平山	
					平松
					仁科
					須崎
					高橋
	磯崎	宇佐美	岡本	河内	

1 開会 (校長挨拶)

2 議事

(1) 令和4年度学校経営計画の年度末評価について

- ① 学校経営計画書について (資料 P4 目標達成状況から)
キャリア教育の充実→小中高継続的な取組を推進した
授業力・専門性の向上→チームによる授業づくり

ICT 機器の積極的な活用、プログラミング教育の取組の紹介

安全・安心への環境整備→今後も浸透させていく

開かれた学校づくり→居住地校交流の積極的な実施と受け入れ校との課題

生き生きとした職場づくり→学校自己評価教職員の項目 23 の結果を確認

* 今後も児童生徒の「自立と社会参加」に向けて取組んでいく。

- ② 学校経営目標・評価について (①とまとめて説明)
- ③ 第2回学校運営協議会分科会の報告 (資料 P5~P9)

- ・地域連携部会 (なのはなプロジェクト) について

* 多くの意見をいただき、心強い。特に就労に向けた協力体制ができればありがたい。見学、体験、実習等今後も引き続き協力をお願いする。

- ・安全安心部会 (地域防災プロジェクト) について

* 意見交換から見えてきたこと。避難訓練の経験が児童生徒の落ち着いた行動になっている。緊急時引き渡し訓練について、計画的に実施できている。備蓄品については消費サイクルを確認して適切に保管している。係内だけではなく全教職員に周知。本校の2次的な避難場所としての周知。箕島小学校への避難経路、受け入れ態勢等を確認しておくことが今後の課題。防災をキーワードに今後も意見交換を大切にしていきたい。

- ・学校評価部会について

* P8~9を確認。小中高でアンケート内容は同じかと質問を受けたが、それぞれの年代よっての保護者の課題意識を把握するためにも同じとしている。性教育の計画について高評価をいただいた。居住地校交流について目的をしっかりと伝えて、負担過多にならないように。授業づくりについて、教職員が楽しみながら進められるといい。

(2) 令和4年度学校自己評価アンケートの結果について

この会は学校評価委員会を兼ねているので、全員の方より意見をいただく。

① 結果の分析と報告（資料 P10～19、別冊資料参照）

回答率の向上・・・Web 回答の影響。便利だという意見多数あり。

② 学校関係者評価

〈委員 1〉

全体的に高評価。項目 1 について、理由を確認しているか？具体的にどう感じているのか？

→自由記述欄に書かれていることで把握

〈委員 2〉

P18 不適切な言動について、何が不適切かということを確認して対応しないと、「アンケートに意見があったからすぐにコンプライアンス研修!!」ということで過剰反応ではないか。

「研修をやりました。」で終わってないか。本当に必要なことを確認していくことが大切。批判しているわけではない。

→本校の今回の研修は発達障害についての理解を含めた、全体的な研修として行った。

〈委員 3〉

高評価の数値の比較について「高評価 94.6%を低い」ととらえるのは、厳しいのでは？

居住地校交流について、教職員からの意見についての対応は？

→教職員の意見についての回答は、他の教育課程の反省と合わせて実施しているため、本アンケートとしては回答してはいない。居住地校交流（前任校ではもっとやっていたという意見）について、障害種によってやりやすさも変わってくる。バランスをとりながら実施していけるよう、本校としての体制を整えたい。

〈委員 4〉

保護者の回答率 93.1%は驚異的。70%くらいが普通か。取組が充実している証拠。安全面の配慮、個人情報保護、保護者対応、個別の指導計画 100%なのはすばらしい。先生方の努力のたまもの。コロナ禍で苦しい状況だったと思うが、公民館交流を含め工夫して実施している様子がよくわかった。学校が楽しくないと感じている児童生徒への対応も必要。

〈委員 5〉

全体的に評価が高い。学校経営計画が周知できているためか。評価では自由記述を重視することが大切。回答を明確にしていく。教職員についても同様。教職員の自由記述を全体で共有して信頼度を高める必要がある。教職員アンケート項目 15～18 について、「できたら○」なのか？質を伴っているのか？より高い質を目標としていく必要がある。

〈委員 6〉

高評価がほぼ 90%を超えている。さらに来年度に向けて取り組んでいくことは難しくなる。主観と数字と比較が難しいものがある。見えるかたちでアンケート実施者に返していけるとより充実してくる。

〈委員 7〉

今後、いかに高くないところを伸ばしていけるかを期待。名前の呼び捨ての件について、それぞれの状況を丁寧に把握して対応する必要がある。

〈委員 8〉

学校という立場から、保護者の高評価について、小学校では各学級に 1 人否定的な意見があってもいいと取り組んでいたが、南支援はすごい。学校の方針をしっかりと理解してもらっている。信頼度の高い学校である。児童生徒自身が評価はあるのか？子供の姿はみとるしかないが、本当はどうなのか。正直な部分の評価はどうしているのか。

→本校では児童生徒向けアンケートは実施せず、学校生活についてのアンケートを生徒指導中心にとっているが、学校評価と比較するためにはしていない。

〈委員 9〉

結果を明らかにして、今後フィードバックすることが信頼関係を高めていくことにつながる。就労支援の立場から卒業生に話を聞くと、学校時代不安が多くて通えなかったという事例があったので、安心して通えることが今後の就労につながるのではないかと。

〈委員 10〉

長期間にわたり評価を見させていただいた。回収率と評価はとても高い。その中で、毎年教職員で学年間、学部間の引き継ぎについての課題が出てきている。これに対して手立てを考えているとは思いますが。

→各部教務会で検討中、スムーズな移行引継ぎについて考えていく。

〈委員 11〉

タブレットでの回答は便利であった。評価が 3, 4 についての自由記述は続けてほしい。芸術鑑賞等について、外部講師を招いた学習や、生演奏を経験できる機会を設定してほしい。一般ではなかなか参加できない。居住地校交流も盛んでうれしい。教員の言動について、子どもはすぐにまねをするので、気を付けてほしい。子どもからの評価については重度の子は自分で伝えられないので、難しいのではないかと思われますが、よろしく願います。

〈委員 12〉

90%でも改善を目指す姿勢はすごい。コロナを機会に本当に必要なことを再確認できたのでは。画面を通して交流している姿を拝見したが、実際に行って交流することが大切なのか。→今年度居住地校交流を実施した学校からメッセージが返ってきた。「また遊ぼう」などと書いてあり、もらった生徒は本当に喜んでいて。保護者や引率教員の反省や感想も参考にし、より有効なやり方を考えていく。

(3) 令和 5 年度の学校運営についての提言及び意見交換

① 令和 5 年度学校経営計画書について（資料 P 20、21 参照）

学校自己評価アンケート、教育課程の反省等をふまえ、本校のミッションを自覚して来年度の計画書を修正した。

* 意見等は特になし。来年度この計画書にそって教育活動を進めていく。

② 今後の学校運営協議会について（資料P 2 2～）

- * コミュニティスクールについて、研修からの報告（別紙資料参照）
- 学校と地域の関係性 承認するということ（オッケーからレッツ！）
- 共に考え共有する→熟議（よくよく考える）「みんなが」「平等に」
- 今ある行事とのマッチング（それをつなぐ学校運営協議会）
- メンバーを介して取り組める活動を1つ考えていく。

3 その他連絡事項

- ・ 令和4年度卒業証書授与式について
- ・ 令和5年度学校運営協議会委員選出について

4 閉会（校長挨拶）